

令和6年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立馬込小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・基礎基本の習熟やノート指導の共通理解を図ることを通して四則計算の正答率が上昇した。
- ・具体物を活用した指導を通して、面積や体積の量感が身に付いてきている。
- ・「頭だけではなく身体で学習する」ことが、図形単元などの正答率の上昇につながった。

(2) 課題

- ・文章題の読み取りについては、やや改善は見られたものの課題の解決には至っていない。
- ・文章題の読み取りについては、算数だけではなく国語の学習とも連携して取り組んでいく必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（同一集団の経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	・目標値より上回っている。	/	/
第5学年	・目標値より大きく上回っている。	・目標値より大きく上回っている。 (第4学年時)	/
第6学年	・目標値より大きく上回っている。	・目標値より上回っている。 (第5学年時)	・目標値より大きく上回っている。 (第4学年時)

(2) 令和6年度の結果分析（観点別）

・中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算やわり算の基礎的な計算力が身に付いている。 ・小数のしくみを理解し、大小の比較ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまりのあるわり算で、正しい答えを求められる。 ・□を使った式の読み取りにやや課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形を正確に作図することができている。 ・重さの単位やグラフの読み取りに少し課題がある。

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・面積や体積を正しく求めることができている。 ・位取りの表を使った記数法に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題に合った式を選択する力に課題が見られる。 ・情報の読み取る力や理由を説明する力が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形の作図に大きな課題が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

・低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・たし算・ひき算、九九などの数の概念については、具体物や図などを用いて学習することで基礎的、基本的な知識や技能の定着を図る。 ・数量や図形の学習の内容については、数学的活動を通して、理解を確実にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方や考え方の幅を広げるために、児童同士の交流の場を意図的に作る。言語活動を重視した活動を行い、自分なりの表現ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の場面を思い出し、ゲームなどを行ったりして楽しみながら繰り返し学習できるようにする。 ・日常生活に根ざした長さ、かさ、時間を活用する場面を児童に見出させるなどして、課題との出会いを大切にする。具体的な活動を通して、量感をもてるようにする。

・中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・計算単元では、1マスに1つの数字を書く、直線は定規で引く、問題同士の間隔を空ける等のノート指導における共通理解、共通実践をさらに進める。 ・図形単元では、高学年の学習へつながるように、コンパスや分度器の使い方、平行や垂直などを確実に理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各時間で行う振り返りを次時の学習へつなげることを通して、既習事項を活用して問題を解決する意識を高める。 ・自分の考えた解き方を、図や式を使って言語化する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の場面を思い出し、ゲームなどを行ったりして楽しみながら繰り返し学習できるようにする。 ・具体物や自分の身体を使って学習することを通して、長さや重さの量感を養う。

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・小数や分数を含めた四則計算が確実に解けるように、計算に取り組む時間を確保する。 ・図形の名前と性質を確実に覚えられるように、振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数直線などを活用することを通して、文章問題で正確に立式する力を養う。 ・自分の考えと他の考えを比べることを通して、多面的に考える力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物や自分の身体を使って学習することを通して、長さや重さの量感を養う。 ・日常生活にどのように生かせるか考えることを通して、必要感をもたせる。